



今回は、「家を長持ちさせるリフォームのタイミング」についてのお話です。

日本の住宅の建替えサイクルは30年程度と言われています。これに対し、イギリスは約77年、アメリカは44年。様々な理由はありますが、建替えサイクルが早く、家を解体すれば産業廃棄物も出ます。環境問題や資源・エネルギー問題が深刻化している中で日本も欧米のように住まいを上手にリフォームしながら長く大切に住み継いでいこうという考え方に変わりつつあります。そこで、今回は「家を長持ちさせるリフォームのタイミング」について考えます。

### ■ 住まいの定期点検、早期発見で住まい長持ち

家を長持ちさせるには定期的に点検をしましょう！そして、住まいの異常を発見したら専門家に診てもらいましょう。早期発見ならメンテナンス費用も最小限で済みます。



### 住まいの点検項目

- 屋根のズレ
- 屋根にキレツ
- 雨樋が変形
- 外壁にキレツ
- 外壁にカビ
- 窓回りに隙間
- 窓回りに結露
- 基礎にキレツ
- 天井にシミ
- ドアの開閉不良
- サッシの不具合
- 壁にキレツ
- 壁にカビ
- 水漏れがある
- 木部の腐食
- 床がぶよぶよ

### ■ 生活の変化に合わせて上手にリフォーム

結婚し、子供が大きくなれば子供部屋が必要になります。子供が結婚すると同居するか別世帯になるのかで部屋数や設備機器の内容も変わってきます。両親と同居することになれば「バリアフリー」についても検討しなくてはなりません。これらリフォームするタイミングに耐震性、断熱性などの性能を向上させた住まいにすることで家は長持ちします。

### リフォーム適齢期

- 結婚時にキッチン・浴室や寝室をリフォーム
- 子供が大きくなり子供部屋
- 子供が結婚し二世帯住宅
- 退職後に電化リフォーム
- 先々を考えてバリアフリー

### 【施工例】



施工前

↑以前はタイル張りの浴室。天上や壁はカビで汚れ、解体したら土台が腐食しておりました。



施工後



施工前

↑臭いが気になる汲み取り式トイレ。狭い上にドアの開閉は出入りが不便でした。



施工後

息子さんの結婚予定をきっかけに、合併浄化槽を設置して水洗化。浴室、脱衣・洗面室、トイレをリフォーム。腐食した土台や柱を入替え防蟻処理したので安心です。(O様邸)



←二人目のお子様も入学された事を機に洋室を子供部屋に。(F様邸)



木造住宅 耐震プラス  
リフォーム時に性能を高める

必要な箇所に柱を新設、筋交い・金具を入れて耐力壁を作り耐震性を高めます。

お気軽にお問い合わせ下さい！

0120-312-341



エクステリア  
住まいのお手伝い  
事業部